

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：やや不十分である
- D：不十分である

学校名	吉野ヶ里町立三田川中学校		
1 前年度 評価結果の概要	<p>・ 学校目標「夢実現に挑戦し、努力する生徒の育成」の目標達成に向けて、コロナ禍の中であったが様々な行事の工夫や授業時間を確保し生徒の夢実現のための支援に取り組んだ。毎週、生徒支援委員会を行い、月1回不登校等支援ネットワーク会議を開くことにより、不登校等の早期発見と早期対応を行い、様々な対策を個別に行ってきた。スクリーニング会議を行い生徒の変容を全職員で共有し、生徒が抱える課題への早期対応につなげることができた。</p> <p>・ 学習面では「わかる授業」を目指してR80を活用した授業の振り返りや、教職員の指導力の向上のため提案授業を年10回実施した。前サボ、後サボを実施し、より良い授業の在り方について研究を進めた。また、12月の校内研修で学習評価のあり方を協議し、評価について研鑽を深めた。</p> <p>・ 時間外勤務の縮減について、「出勤は7:30以降」についてはほぼ達成できた。また、定時退勤日に意識して退勤できている職員が増えた。平日の時間外勤務は、ほとんどの職員が減った。今後は計画的な行事の準備、分掌事務等々にかかる負担を分担するなど改善する必要がある。</p>		
2 学校教育目標	夢実現に挑戦し、努力する生徒の育成		
3 本年度の重点目標	<p>(1) 不登校対策及び特別支援教育の充実</p> <p>(2) 学力向上</p> <p>(3) 人権・同和教育の推進</p> <p>(4) 教職員の時間外勤務の縮減</p>		

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の推進を図る。
	○基礎的・基本的内容の確実な定着を目指した指導方法の改善 ○授業づくりのステップ1・2・3を意識した授業づくりにより、学習内容の定着を図る ○ICT機器の活用による授業の効率化と分かる授業の実践	○定期テストの平均点70点以上 ○職員アンケートで「授業づくりのステップ1・2・3のステップ2まで実践できた」「R80等を取り入れた振り返りができた」という回答80%以上 ○タブレットPCの授業での活用100%	・課題の設定、評価方法、ICT活用等に関する提案授業及びそのサポート会を通じて、授業改善を図る。 ・職員間で「めあて」「振り返り」の実施状況を共有し意識を高め合う。 ・タブレットPCを授業の中で無理なく効果的に活用できるような職員研修を充実させる。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業の振り返りにおいて、新しい価値を見出したり、自身の内面や考えの変化に気付いたりすることができた生徒80%以上を目指す。	・道徳の授業づくりに関する校内研修の実施（講師を招聘） ・「ふれあい道徳」の授業を保護者に周知し、道徳の授業への理解を深めてもらい、家庭・地域での教育力向上につなげる。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●QUの要支援群の生徒の割合を5%以下にする。 ●生徒支援委員会(教育相談部会・特別支援教育部会)を毎週1回実施する。	・定期的な生活アンケート、早期発見につなげる教育相談の実施方法の工夫 ・SC、SSWと計画的支援をしていく。 ・生徒指導協議会、生徒指導委員会で、いじめ問題の対応について研修を実施し、実践していく。
	◎児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒90%以上 ○生徒会活動の活性化を行い、生徒の様々な行事での満足度を80%以上 ○特別支援教育における教職員、保護者の満足度70%以上	・生徒の資質や能力を育む授業づくりに関する校内研修等の実施。 ・各種体験活動では、活動の見直しと振り返りを行う活動を仕組む。 ・生徒の視野を広げ、生き方や夢につながるような講演会を実施する。 ・生徒が主体的に活動する生徒会行事や集会を企画・実施する。 ・生徒の個性や特性を生かした特別支援教育実施のため、地域や専門機関と連携を図る。
●健康・体づくり	「望ましい生活習慣の形成」 ●感染症予防対策  「安全に関する資質・能力の育成」	○(学校独自成果指標) ○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○新型コロナウイルス感染症を予防する	・規則正しい生活習慣を身につけ、ゲーム依存やLINE中毒などに陥らないように「ネットワーク5原則」を遵守し、規範意識を高める。 ・感染症の予防をする ①三密を避ける ②手指の消毒 ③換気 ④湿度の保持を図る
	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○朝食の喫食率90% ○給食の残食数を昨年度より削減	・毎日の給食指導や学活、授業などの学習指導で食の大切さを学習し、学校全体で食育や健康増進に努める。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・タイムマネジメントの意識化(出勤は7:30以降等) ・定時退勤日の遵守 ・出張の際は、勤務時間以降は帰宅する。
	○適切な部活動の在り方についての研修と実践	○部活動の運営を組織的に、活動時間のガイドラインを遵守する。	・複数顧問体制の中で、交代して指導をしたり、役割を分担して、負担の軽減につなげ、部活動の運用を適切に行うように努める。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○開かれた学校づくり	○コミュニケーションスクールの実施に向けた取組	○実施に向けた組織をつくる。 ○関係者の実施に向けた理解度80%以上を目指す。	・運営協議会の複数実施で、理解と協力を得る。 ・先進校への視察や問い合わせで課題の解決を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>		
--------------------	----------------------------	--	--